



長尾 義信

健康寿命延伸に向けた取り組み

- 一、健康寿命延伸に向けた取り組み
- 二、自治体の消防設備等の維持管理
- 三、近畿高校駅伝競走大会の開催による地域の活性化

自治体の消防設備等の維持管理

近畿高校駅伝競走大会の開催による地域の活性化

**問** 健康づくり教室や介護予防、ウォーキング講座などを開催されているが、事業の終了後も引き続き、継続的に取り組む環境が大切であると思うが、行政としての考えを。また、健康寿命延伸に向けた施策を問う。

**答** 健康づくりの取り組みは、徐々に効果が見えてくるものであり、大変地道なものであると考える。アンケートでも「継続してほしい、集まる場や機会を持つてほしい」など多くの声を聞いている。今後も、様々な部分でサポート、支援を続け、住民の皆様への普及、啓発に努めることを施策の基本とし、研究、検討を重ね取り組みを継続していきたい。

**問** 各自治体に設置してある消防設備及び格納庫の老朽化が心配される。今後、修繕や維持管理に多額の負担が生じてくる。行政として自治区が負担している維持管理費用を軽減できないのか。行政の対応及び今後の方向性を問う。

**答** 従来から消防施設・ホース格納箱等については、住民自治区の皆様には負担していただいている現状である。限られた財源の中で、地域住民の生命と財産を守る基礎自治体の責務を果たせるよう行政と連携した各区、消防団の皆様と自助、共助の取り組みに引き続き、ご理解をいただくとともに、豊中市への消防事務委託を機に今後のあり方について検討していきたい。

**問** 平成28年から3年間、近畿高校駅伝大会が開催される。2府4県及び近隣市町とスポーツを通じた交流や本町の観光、文化等の魅力を発信する良い機会である。また、次世代育成や健康づくりの期待も高まってくると思われる。是非このチャンスを活かし、積極的な地域の活性化、まちづくりを進めていくための考えを問う。

**答** 高校生のトップレベルの競走を町民が間近で観ることが出来る貴重な機会である。また、大会を実施するだけではなく、関連機関と連携、協力することで、地域にとっても付加価値の生まれる大会になるよう、本町としても円滑な推進に向け努力していきたい。

### 一般質問



西河 巧

「農業の振興」について

- 一、「農業の振興」について
- 二、「魅力ある町づくり」について

町域の8割が山林である。町の活性化を進めて行く上で、山林資源の循環型活用が大事ではないか、山の資源活用については、薪ストーブの導入や山林樹木の有機肥料生産の事業化を進めては。

「魅力ある町づくり」について

**問** 今後、能勢町として、農業の振興をどう進めて行こうとしているのか町長の見解を伺う。

**答** 能勢町版の総合戦略を27年度、計画を立てていく中で、農業の振興については、必ず取りかかっていかなければならないと考える。新たな特産品の開発や、森林資源の循環型活用を進めて行くべきと考える。耕作放棄地対策や、農業の6次産業化、新規就農支援、農産物の生産及び消費の拡大について、本町の大都市近郊という立地条件を生かし、農業者の真に必要な支援策の構築に努めていきたい。

**問** 能勢町版の総合戦略を27年度、計画を立てていく中で、農業の振興については、必ず取りかかっていかなければならないと考える。新たな特産品の開発や、森林資源の循環型活用を進めて行くべきと考える。

**答** 包括協定を結んだので、いろいろなことで、ご協力願えると思う。具体的な話はこれからである。森林資源の活用については、総合戦略の中で進めて行きたいと思う。

**問** 新年度に向けて基本的な考え方について伺う。

**答** 町に、活力と新たな価値を創造していく為に地域の多様な担い手の知恵と力を結集し、地域資源の付加価値を高め能勢町の強みを伸ばしていきたい。

**問** 魅力ある新学校については、広大な敷地を有する新学校の植栽計画や開校後の維持管理又、学習農園や学習林の設置について

**答** 17ヘクタールという広大な敷地を生かすために、特長ある植栽計画や学習農園、学習林を計画している。